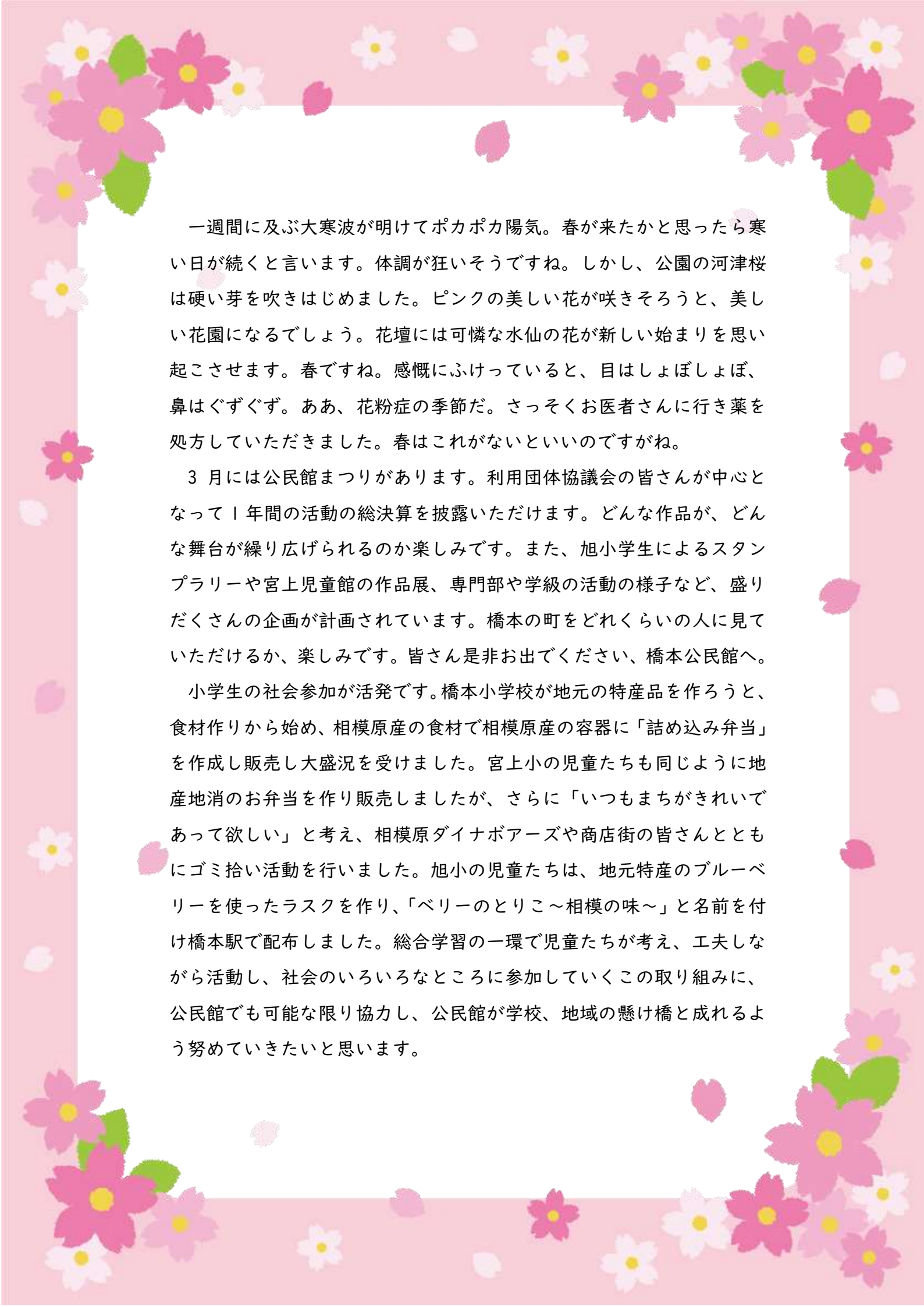




一週間に及ぶ大寒波が明けてポカポカ陽気。春が来たかと思ったら寒い日が続くと言います。体調が狂いそうですね。しかし、公園の河津桜は硬い芽を吹きはじめました。ピンクの美しい花が咲きそろくと、美しい花園になるでしょう。花壇には可憐な水仙の花が新しい始まりを思い起こさせます。春ですね。感慨にふけていると、目はしょぼしょぼ、鼻はぐずぐず。ああ、花粉症の季節だ。さっそくお医者さんに行き薬を処方していただきました。春はこれがないといいのですがね。

3月には公民館まつりがあります。利用団体協議会の皆さんが中心となって1年間の活動の総決算を披露いただけます。どんな作品が、どんな舞台が繰り広げられるのか楽しみです。また、旭小学生によるスタンプラリーや宮上児童館の作品展、専門部や学級の活動の様子など、盛りだくさんの企画が計画されています。橋本の町をどれくらいの人に見ていただけるか、楽しみです。皆さん是非お出てください、橋本公民館へ。

小学生の社会参加が活発です。橋本小学校が地元の特産品を作ろうと、食材作りから始め、相模原産の食材で相模原産の容器に「詰め込み弁当」を作成し販売し大盛況を受けました。宮上小の児童たちも同じように地産地消のお弁当を作り販売しましたが、さらに「いつもまちがきれいであって欲しい」と考え、相模原ダイナボアーズや商店街の皆さんとともにゴミ拾い活動を行いました。旭小の児童たちは、地元特産のブルーベリーを使ったラスクを作り、「ベリーのとりこ〜相模の味〜」と名前を付け橋本駅で配布しました。総合学習の一環で児童たちが考え、工夫しながら活動し、社会のいろいろなところに参加していくこの取り組みに、公民館でも可能な限り協力し、公民館が学校、地域の懸け橋と成れるよう努めていきたいと思っています。